

道の右側、もっこりと黒い丘が「首切り森」

## 再発見 ふるさと風土記

### 〔7〕 キリシタン弾圧と「首切り森」

白山の集落を過ぎて沢づたいに上って行くと、田んぼの尽きる処に白山鉱山精錬所の跡がある。敷き詰めた精錬の残渣(ざんさ)で、一帯の土砂が赤く金錆びしていることから、土地の名前が赤滓(あかかす)となっている。

川を挟んで一カ所、ぽつんと孤立した丘がある。これを「首切り森」と言う。山の秩序を乱した不心得者とか、ご法度だったキリシタンの処刑の場所だったと言い伝えられている(実際にこの新城の沢で、隠れキリシタンの処刑があった記録はない)。

#### 【異聞】

鉱山の守り神のご本尊「金の観音像」を盗んだ奴がいた。刑場の首切り森で処刑が行われると聞いて、その森を囲むように村人たちが集まった。中には、坑道を這いずり回っていた掘り子たちもいて、膝当てを付けたままの者もいた。

後ろ手に縛られた男が、悄然(しょうぜん)とした面持ちで籠(むしろ)の上に座らされた。「山の祭壇からご本尊を盗むとは、なんて罰当たりな奴!」、「それも釜で溶かそうとしたとか?」、「観音様が溶け出す前に、竈(かまど)が吹っ飛んだぜ!」、「ビカーッと光って、すごい爆発だった!」。

どうやら、金無垢のご本尊は破裂して、吹っ飛んでしまったらしい…。

郷土史研究家 永田 賢之助

## 私のメモリー



### ふるさとと母校は忘れがたし

私が結婚し、上新城を後にしたのは64年前になります。小学校を修了し、中学校が出来上がって、自分達で椅子を持って引っ越したのを今でもはっきりと覚えています。新校舎は総秋田杉の造りで、新鮮な木の香りに、歩くとギンギンと鳴るのが何とも言えない感触でした。立派な校舎に、私達はとても恵まれていると感謝したものです。

中学校が閉校のために式典を行うと知り、絶対に参加したいとその前日にこまち号に乗りました。しかし、まもなく大震動で急停車したのです。午後2時26分、あの東日本大震災が発生しました。避難所で一夜を過ごした後、やむなく自宅へと戻りました。残念ながら、閉校式の出席は夢のまた夢で終わってしまいました。

夢にも出てきますが、土崎から歩いて谷地の登り坂を通り上新城の入口に立つ事を思い浮かべると、何年経っても自然に涙が出てきます。手つかずの風景に新城川のせせらぎ…。生まれ育ったふるさとと共に、中学校の思い出は私の心の支えであり続けます。

鳥井 綾子(上新城保多野出身 埼玉県在住 旧姓:三浦)

## 人、モノ、風景 上新城 の宝物

### 双葉の繋がり

小又と白山には、町内をまたいだ双葉親交会という会があります。先輩方が立ち上げてもう50年以上にはなるでしょうか。私も20代の頃に親交会へ入り、なまはげ行事や盆踊り、作踊りなどに参加してきました。以前は、親交会で一人暮らしの家の雪かきをしたこともありましたよ。

今も続けている活動は、小正月のなまはげ行事。自分の子どもがまだ小さかった頃、驚かせるために玄関でなく裏口から入り、子どもが大泣きしたことがありました。今でも鮮明に蘇る楽しい思い出です。最盛期の頃は50軒も回っていたものの今は人も少なくなり、一時期はもうやめるかという話も出ましたね。果たしていつまでできるのか。

現在、会に所属しているのは40~60代の10名。入った当時は「青年部」でしたが…。忘年会や新年会、猪や熊の肉が獲れたとき、さなぶりなどで集まり、酒を酌み交わしています。こんなことを上新城の外で話すと、よく羨ましいと言われます。特に町内をまたいで長く続く集まりは珍しいので、この繋がりには自慢のひとつですね。



白山町内会会長 佐田 稔(最後列中央)



## さとぴあ講座レポート「坐禅体験とお茶会」

7月7日(木)、小又の昌東院で「坐禅体験とお茶会」の講座を開催しました。はじめに、住職の辻 匡人(つじ まさと)さんから講話をいただき、正しい座り方や呼吸の方法、心の持ち方など坐禅についての指導を受けました。

今回は、15分の坐禅を2回体験。開始を合図する鈴の音が堂内の静けさを一層際立たせる中、参加者はそれぞれ自身を見つめ直しました。



昌東院 住職 辻 匡人さん

坐禅体験の後は、茶道裏千家準教授の辻 宗麻(つじ そうま)さんから、茶道の基本的な心得と楽しみ方を教えていただきました。参加者は茶碗や菓子の説明を受けた後、それぞれの席に着き、静かな心もちでお茶と上生菓子を堪能しました。

以前開催した陶芸講座で自作した茶碗を持参した方も多く、極上のお点前がまた格別の面持ちとなって見えたようです。



茶道裏千家 準教授 辻 宗麻さん



昌東院は臨済宗のお寺。臨済宗は坐禅が基本です。

- ちょうしん **調身** 正しい姿勢で座り
- ちょうそく **調息** 呼吸をととのえ
- ちょうしん **調心** 心の持ち方をととのえる

これが坐禅の基本です。

一番大切なのは呼吸方法。息を吸うことよりも吐くことに主眼をおきます。体の中の空気を全部吐き出すイメージで吐き切り、身も心も解放した状態で是非善悪などの想念を払い去り、無念無想になります。呼吸の働きに媒介されて、心と身が渾然と一つになるのが坐禅です。

お茶は、臨済宗の教えとともに各地へ広がりました。

臨済宗は、鎌倉時代の初めに禅僧・栄西が日本へ伝えました。栄西は5世紀にインドから中国に伝わった禅宗に出会い、4年間の修行の後に臨済宗を伝授され帰国。当時中国のお寺では、修行の一つとして茶礼が行われていました。茶の湯の原点です。栄西はお茶の種子を持ち帰り栽培を始めました。やがて、禅寺でお茶を飲む喫茶の習慣が臨済宗の教えとともに各地へ広がり、お茶を広めた栄西は「茶聖」とも呼ばれるようになりました。



### 秋田の野鳥写真展

写真提供: 日本野鳥の会 秋田県支部

**日時** 令和4年9月1日(木)~10月23日(日)  
10:00~18:00

**場所** さとぴあ 天窓廊下

**入場無料**

### 遠藤 雅巳

### ステンドグラスの世界

『遊雅』ステンドグラス工房作品展

**日時** 令和4年9月10日(土)~10月23日(日)  
10:00~18:00

**場所** さとぴあ 玄関展示ホール

**入場無料**

ステンドグラス作品が幻想的な空間を生み出します。




### 心音 (ここね)

### オカリナ・ミニコンサート

**日時** 令和4年10月16日(日) 14:00~15:00

**場所** さとぴあ 玄関展示ホール

**申込** 電話でお申し込みください  
018-893-3412(さとぴあ)  
10月11日(火)締切




**入場無料 要予約**

ステンドグラス工房の作品展を開催中のホールで、オカリナのミニコンサートを開きます。オカリナが奏でるやさしい音色がステンドグラスに共鳴し、すてきな色彩を放ちながら光鮮やかに空間を演出します。やすらぎと癒しの時間をお楽しみください。



### 9月の講座一覧

- 9/3 土** 初秋の野菜収穫体験(昼食付)
- 9/8 木** 歴史講座: 北前船と秋田
- 9/16 金** 歴史講座: 考古学で語る上新城の古代
- 9/17 土** 南蛮味噌作りと秋野菜を使った料理
- 9/23 金** サツマイモ収穫体験
- 9/25 日** りんごの収穫と和菓子作り①・②

令和4年度 **援農ボランティア** **ボランティア受入農家** **募集中!**

詳細はお問い合わせください。

「上新城さとぴあだより・ふるさと瓦版」は、上新城地区の瓦版です。次号の配布は、11月3日・4日の予定です。地区の皆さんにお知らせしたい情報がありましたら、「さとぴあ」までお寄せください。